

令和8年度 福島中学校 シラバス

学 年	I	教 科	社 会	担 当	松永 尚登・佐々木 潤	時 数	105
-----	---	-----	-----	-----	-------------	-----	-----

◆教科の目標

地理分野・歴史分野・公民分野（3年次のみ学習）の三分野を総合的に学習することで、物事を多面的・多角的に考察する力を養い、自己の将来に向け自ら判断し切り開く力を育む。

◆評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能 【知】	思考・判断・表現 【思】	主体的に学習に取り組む態度 【主】
趣 旨	<地理的分野> 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解しているとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 <歴史的分野> 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べてまとめている。	<地理的分野> 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 <歴史的分野> 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	<地理的分野> 日本や世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 <歴史的分野> 歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

◆年間指導計画

月	分野	単 元 名 【 時 間 】 (合 計)	学習内容	観点別評価の規準 【知】(知識・技能)「何を理解しているか、何ができるか」 【思】(思考・判断・表現)「理解していること・できることをどう使うか」 【主】(主体的に学習に取り組む態度)「粘り強い取組を行おうとしている」 「自らの学習を調整しようとする」態度	評価方法
4 月	地 理 的 分 野	世界と日本の地域構成 【15時間】 (15時間)	<u>講義形式・ペアグループ</u> 緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解する。 世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察、表現できる。 世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究できる。	【知】緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。 【思】世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
5 月	歴 史 的 分 野	歴史へのとびら 古代までの日本 【15時間】 (30時間)	<u>講義形式・ペアグループ</u> 年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解する。 比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちのつながりなどに着目して、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現できる。 ・世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解する。	【知】歴史的分野の学習内容のあらましと学習のねらい、地理的分野や公民的分野といった分野を越えて関連する内容について理解している。 【思】比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちのつながりなどに着目して、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】私たちと歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	【知】 ・ワークシート ・ペーパーテスト ・レポート 【思】 ・ワークシート ・ペーパーテスト ・レポート 【主】 ・ワークシート ・ペーパーテスト ・ノート ・話し合い活動 ・レポート
6 月	地 理 的 分 野	世界のさまざまな地域 【8時間】 (40時間)	<u>講義形式・ペアグループ</u> 人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けることを理解する。 世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目させて多面的・多角的に考察、表現できる。 世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究できる。	【知】人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。 【思】世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し表現している。 【主】世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
7 月	地 理 的 分 野				

9月 10月 11月	歴史的分野	古代国家の歩みと東アジア世界 中世の日本【15時間】(55時間)	講義形式・ペアグループ 律令国家の確立に至るまでの過程とその後 天皇や貴族による政治が展開したことを理解する。 東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、多面的に表現する。 律令国家の確立や摂関政治について、社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付ける。	【知】律令国家の確立に至るまでの過程, 摂関政治などを基に, 東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ, その後, 天皇や貴族による政治が展開したことを理解する。 【思】東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して, 事を相互に関連付けるなどして, 律令国家の形成, 古代の文化と東アジアとの関りについて, 古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。 【主】律令国家の確立や摂関政治について, そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	【知】 ・ワークシート ・ペーパーテスト ・レポート
		中世の日本 武士の政権の成立 ユーラシアの動きと武士の政治の展開 【15時間】(70時間)	講義形式・ペアグループ 鎌倉幕府の成立などを基に, 武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し, その支配が広まったことを理解する。 元寇(モンゴル帝国の襲来)などを基に, 武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し, その支配が広まったこと, 元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解する。 武士の政治への進出と展開, 東アジアにおける交流, 農業や商工業の発達などに着目して, 中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現できる。	【知】農業など諸産業の発達, 畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立, 武士や民衆などの多様な文化の形成, 応仁の乱後の社会的な変動などを基に, 民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。 【思】武士の政治への進出と展開, 東アジアにおける交流, 農業や商工業の発達などに着目して, 中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し, 表現している。 【主】ユーラシアの動きと武士の政治の展開について, そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	【思】 ・ワークシート ・ペーパーテスト ・レポート 【主】 ・ワークシート ・ペーパーテスト ・ノート ・話し合い活動 ・レポート
	地理分野	・アジア州 ・ヨーロッパ州 ・アフリカ州 【15時間】(85時間)	講義形式・ペアグループ アジア州で顕在化している地球的課題は, それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて, 現れ方が異なることを理解する。 ヨーロッパ州に暮らす人々の生活を基に, 各州の地域的特色を大観し理解する。 アフリカ州において, 地域で見られる地球的課題の要因や影響を, 州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目させて, それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察, 表現できる。 アフリカ州について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究できる。	【知】アジア州で顕在化している地球的課題は, それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて, 現れ方が異なることを理解している。 【知】ヨーロッパ州で顕在化している地球的課題は, それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて, 現れ方が異なることを理解している。 【思】アフリカ州において, 地域で見られる地球的課題の要因や影響を, 州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して, それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し, 表現している。 【主】アフリカ州について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	【知】 ・ワークシート ・ペーパーテスト ・レポート
		・北アメリカ州 ・南アメリカ州 ・オセアニア州 【15時間】(100時間) 身近な地域調査テーマ【5時間】(105時間)	講義形式・ペアグループ 北アメリカ州で顕在化している地球的課題は, それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて, 現れ方が異なることを理解する。 南アメリカ州において, 地域で見られる地球的課題の要因や影響を, 州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目させて, それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察, 表現できる。 オセアニア州について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究できる。 調査テーマを考え, 身近な地域を調べその内容を紙面等にまとめる。 地元のことを理解し, 歴史とともに多面的・多角的に考察し表現できる。	【知】北アメリカ州で顕在化している地球的課題は, それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて, 現れ方が異なることを理解している。 【思】北アメリカ州において, 地域で見られる地球的課題の要因や影響を, 州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して, それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し, 表現している。 【思】南アメリカ州において, 地域で見られる地球的課題の要因や影響を, 州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して, それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し, 表現している。 【主】オセアニア州について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 【主】地元の事について地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し, 表現している。 【思】身近な地域でみられる特色をそこで見られる課題とともに主体的に追究しようとしている。	【思】 ・ワークシート ・ペーパーテスト ・レポート 【主】 ・ワークシート ・ペーパーテスト ・ノート ・話し合い活動 ・レポート